



駆け抜けるつかの間の住人たち。

MOTEL CACTUS

◆1997年プサン映画祭
"NEW CURRENT賞"受賞

◆1998年ロッテルダム映画祭
"特別国際批評家連盟賞"受賞

韓国の新鋭パク・キヨン監督とクリストファー・ドイルによって描き出されたオムニバス・ストーリー

◆出演: チョン・ウソン; ジン・ヒギョン; キム・スンヒョン; ハン・ウンス; パク・シニヤン; イ・ミヨン ◆監督: パク・キヨン ◆脚本: パク・キヨン; ボン・ジェンホ ◆撮影: クリストファー・ドイル
◆照明: パク・ジョンファン ◆音楽: キム・ジェウォン ◆製作: チェ・スンジェ ◆1997年香港・韓国映画 ◆カラー作品  ◆©1997 UNO FILMS ◆配給: アート・キャップ 

15

<http://www.vagabond.co.jp/talkin/motelcactus>

MOTEL CACTUS

モーテルカクタス

「彼(パク・キヨン)の感性は韓国映画の中であって、新たな動きの一端を担っている。」

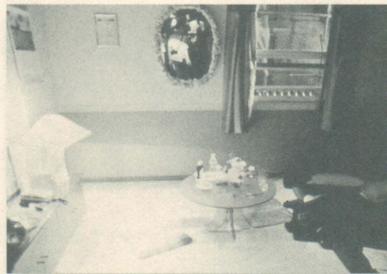
プサン映画祭 審査員

1997年プサン映画祭 “NEW CURRENT賞” (新しい波) 受賞 ©1998年ロッテルダム映画祭 “特別国際批評家連盟賞” 受賞

モーテル カクタス407号室 4カップルのエピソード



モーテルの一室。そこには完全なプライバシーがあり、2人だけの自由な世界が生まれる場所。まるで外から隔離された小宇宙が存在するかにさ感じられる。しかし、テレビから流れるリアルなニュース、思い出した様になる携帯電話やポケットベルなど、部屋の中にある小物たちが絶え間なく音を上げ、407号室での東の間の時間にさえ外の世界は侵入してくる。「モーテルカクタス(意:サボテン)…砂漠の中のサボテンね」このセリフが象徴する様に、カップルたちの倦怠感、別れ、再会などの孤独感を秘めた空間は、若い恋人たちの心の影をリアルに映し出している。



韓国の新鋭パク・キヨン監督vsクリストファー・ドイル



パク・キヨン監督はクリストファー・ドイルとの出会いがなければこの作品は完成しなかっただろうと強調する。1996年夏、香港で二人は出会った。その席で監督のアイデアとドイルの感性とエネルギーが重なり合い、この映画がスタートした。映像的にはクシユトフ・キェシロフスキ監督(作品:「トリコロール」(94)他)に最も影響を受けたと語るパク・キヨン監督。アジアとの、特にウォン・カーウアイ監督(「恋する惑星」「ブエノスアイレス」他)とのコンビで知られ、また最近ではアメリカでガス・ヴァン・サント監督との仕事に取り組むなど、カメラマンとしての幅をますます広げているクリストファー・ドイル。彼の無国籍的な映像は監督が求める韓国的でありながら全く違う資質を持った映像を作り出すこととなった。

韓国映画界の新世代 = 新しい旋風



一話でカップルを演じるジン・ヒギョン、チョン・ウソンは揃ってモデル出身。ジン・ヒギョンは20歳でモデルとしてデビューを果たし、一気にトップモデルへと駆け上がった。一方チョン・ウソンはモデルとして確立された後、「クミホ/千年愛」(94)で映画デビュー。最近では「上海グランド」(98)などに出演している。韓国では、日本のキムタクを凌ぐアイドル的存在でありながら自分のポリシーをきちんと主張できる新世代ともいえる俳優である。若いパワーに溢れている彼らと、新しい感性を持つパク・キヨン監督、そしてクリストファー・ドイル。本作品は彼ら全ての力によって、今までになかった韓国映画を作りあげ、韓国映画界に新しい旋風を巻き起こした。



◆出演:チョン・ウソン;ジン・ヒギョン;キム・スンヒョン;ハン・ウンス;パク・シニヤン;イ・ミョン ◆監督:パク・キヨン ◆脚本:パク・キヨン;ボン・ジュンホ
◆撮影:クリストファー・ドイル ◆照明:パク・ジョンファン ◆音楽:キム・ジェウォン ◆製作:チェ・スンジェ

1997年 / 韓国・香港映画 / カラー作品 / 91分 / / ©1997; UNO FILMS / 配給:アート・キャップ

◎「talkin'web」は映画情報のインターネット放送局です。何処よりも大画面、高画質で最新映画の予告編ムービーをお届けしています。

2月13(土) → 3月5(金) 公開

特別前売 発売 ¥1,400
鑑賞券

名作単館ロードショー ★連日オールナイト★
日本橋一丁目交差点北東角・北陸銀行東隣り
国名小劇
にほんいちビル ☎6213-9229

地下鉄・阪急・天神橋6丁目下車・6号出口すぐ
天ホクテンザ2
シネ5ビル ☎6351-2833
●上映途中のご入場は出来るだけ遠慮下さい。

昼の部	1	2	3	4	5	6
	10:00	11:50	13:40	15:30	17:20	19:10
夜の部	7	8	9	10	11	終了
	21:00	22:50	0:40	2:30	4:20	5:51

	1	2	3	4	5
	11:00	12:50	2:40	4:30	6:20
	6	7	8	9	10
	8:10	10:00	11:50	1:40	3:30